

**米山事業を継続するために**

**52年目のあゆみ**

# 世界平和のため友好の懸け橋

奨学事業を継続する中で私たちが今考えること

## 50年の時代の移り変わり

1. 奨学事業の発端のビジョン
2. 奨学事業の未来計画
3. 危機管理・リスクマネジメント

# 50年の時代の移り変わり

1952年、米山梅吉氏の功績を記念して東京ロータリークラブから発信されました。米山募金が始まりでした。

## ◆米山募金の主旨◆

海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する事業

# 賛同して立ち上がったロータリアンの胸中には

2度と戦争の悲劇を繰り返さないために、  
国際親善と世界平和に寄与したいという  
強い思いがあったのです。

- ◆わずか5年後には日本全国のロータリー  
クラブの共同事業へと発展しました。

戦争の悲劇を知らない時代に

では、今 奨学事業に求めるものは？

勉学に優秀な学生だけが平和にできる能力があるのか？

悲劇を生むのは戦争だけでは無い時代！

# 奨学事業の未来計画

## 最も重要なことは！

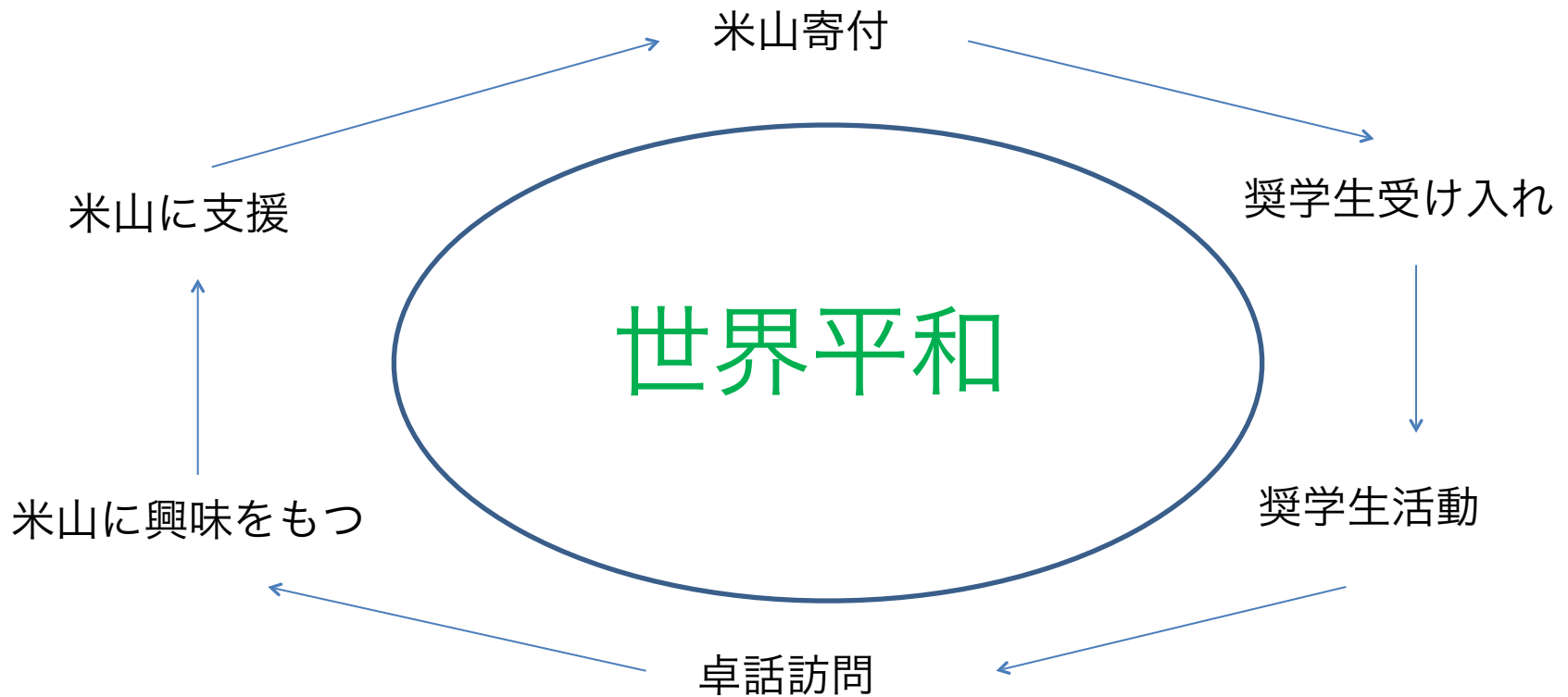
1. 対する人の立場になれる
2. なんとか相手の気持ちをわかるうとする
3. 人類はひとつという思いがある
4. コミュニケーションがとれる
5. 自分が得た知識を人のために役立てる
6. 未来のビジョンをもつ
7. 感謝の気持ちがある

# 危機管理

1. 様々なハラスメント
2. 災害
3. 事故
4. 不可抗力
5. メンタルハラスメント

ハラスメントはいずれも不信感が発生の起因  
そして、上下関係を認識したとき

# 世界平和への米山ループ





日本のロータリーが作った米山奨学事業です。

皆さん、ロータリーはここに  
あり